

施策番号	0103		
施策名	ごみを出さない循環型社会の構築		
概要	循環型社会の構築のために、ごみを出さない2Rの定着、ごみの分別や適正な排出、資源物の回収及び廃棄物発電など、ごみの減量と再利用を促進する。		
担当局・部室	環境政策局・循環型社会推進部、適正処理施設部	共管局・部室	
上位政策	1 環境		
施策に関する 主な分野別計画等	京都市環境基本計画2016～2025, 京都市循環型社会推進基本計画（2015-2020）		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成 29年度	平成 30年度	令和元年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	一人一日当たりのごみの排出量(グラム)	a	b	769	764	756	98.9%	b	1.00
2	ごみ焼却量(トン)	a	b	38.6万	38.3万	37.4万	97.6%	b	1.00
3	ごみ1トン当たりの発電量(kWh/t)	a	a	356	369	360	102.5%	a	1.00
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		平成 29年 度	平成 30年 度	令和元年度回答						
				そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数	評価
1	マイバッグやリサイクル製品など、ごみを出さないようなくらしと事業活動が広がっている。	a	a	161	360	125	42	13	701	a
				23. 0%	51. 4%	17. 8%	6. 0%	1. 9%		
2	ごみを分別して出せる拠点が身近にあり、ごみのリサイクルが進んでいる。	a	a	174	328	123	48	31	704	a
				24. 7%	46. 6%	17. 5%	6. 8%	4. 4%		
3	-	-	-							-
4	-	-	-							-
5	-	-	-							-
		a	a	市民生活実感調査総合評価						a

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている						
	重み付け	☒ 客観指標	a	☐ 市民の実感	a		
(重み付けの理由) ごみの発生抑制や再利用、資源物の回収及びエネルギー回収等、すぐには市民の実感につながりにくい部分が多いため、客観指標に重みを置く。						平成30年度	A
(原因分析) 客観指標総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。						平成29年度	A
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		令和元年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		平成30年度 決算額	令和元年度 予算額		
1	使用済てんぷら油の市民回収奨励事業	27,569	30,247	良い	環境政策局
2	コミュニティ回収等の集団回収事業	60,397	71,664	普通	環境政策局
3	資源物の拠点回収の推進	116,121	145,810	かなり良い	環境政策局
4	生ごみ・落ち葉の堆肥化等の活動支援	14,164	14,777	良い	環境政策局
5	「世界一美しいまち・京都」の推進	33,717	37,513	良い	環境政策局
6	家庭ごみの防鳥用ネット貸出事業	15,860	17,949	良い	環境政策局
7	移動式拠点回収事業	20,691	23,199	良い	環境政策局
8	観光トイレ制度	33,431	30,507	かなり良い	環境政策局
9	焼却灰の資源化の試行実施	12,374	0	－	環境政策局
10	東北部クリーンセンター大規模改修	0	213,417	－	環境政策局
11	南部クリーンセンター第二工場建て替え整備事業	12,154,857	6,364,310	－	環境政策局
12	埋立処分地整備事業	241,021	313,512	－	環境政策局
13	魚アラ中継施設整備	53,096	0	－	環境政策局
14	バイオマス活用の推進	19,599	14,989	－	環境政策局
15	イベント等のエコ化の推進	22,524	23,461	良い	環境政策局
16	環境施設見学会「ごみ減量エコバスツアー」	10,189	13,758	良い	環境政策局
17	資源物の持ち去り禁止等啓発パトロール	7,972	9,099	良い	環境政策局
18	市民・事業者とのパートナーシップによるごみ減量活動の推進	62,614	61,905	良い	環境政策局
19	生ごみ減量推進事業	26,349	21,381	良い	環境政策局
20	事業ごみ減量、分別・リサイクル対策	178,589	183,744	かなり良い	環境政策局
21	食品ロス削減等推進事業	48,389	47,654	普通	環境政策局
22	紙ごみ削減推進事業	41,102	41,809	かなり良い	環境政策局
23	使い捨てプラスチック削減推進事業	0	19,442	－	環境政策局
24	「新・京都市ごみ半減プラン」の進ちょく管理	28,247	27,273	－	環境政策局
25	産業廃棄物に関する社会意識の高揚	18,500	25,127	普通	環境政策局
26	大岩街道周辺地域対策(岡田山撤去関連事業等)	37,527	39,515	良い	環境政策局
27	廃棄物排出事業者指導業務(産業廃棄物)	59,575	69,025	普通	環境政策局

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・「2R」と「分別・リサイクルの促進」の2つを柱とするごみ減量施策を推進し、資源・エネルギーの有効利用と環境負荷の低減、さらには「もったいない」や「しまつ」といった京都らしいライフスタイルなどの定着を図り、市民、事業者とともに、全国のモデルとなる持続可能な循環型社会の構築に取り組む。

・クリーンセンターの施設保全計画を更新し、適切な補修等の整備を行うことで、安定したごみ焼却を行い、発電効率の向上に努める。

・以上のことにより、客観指標の目標達成と市民生活実感の維持、更なる向上を図り、ごみを出さない循環型社会の構築を推進する。

施策名	0103	ごみを出さない循環型社会の構築
-----	------	-----------------

指標名	一人一日当たりのごみの排出量（グラム）
-----	---------------------

担当課	ごみ減量推進課	連絡先	2 1 3 - 4 9 3 0
-----	---------	-----	-----------------

1 指標の説明

一人一日当たりのごみの排出量(市受入量)

2 指標の意味

循環型社会の構築に向けた「ごみの発生抑制、再使用（２Ｒ）」の推進状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値	
	平成29年度	平成30年度		数値	根拠
数値	769	764	5グラム減	756	令和2年度の数値目標達成のために当年度達成すべき数値

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値		730グラム	令和2年度	95.3%	京都市循環型社会推進基本計画（2015-2020）

5 評価基準

最新値－目標値が、
a：0グラム以下
b：0グラム超～41グラム以下
c：41グラム超～83グラム以下
d：83グラム超～124グラム以下
e：124グラム超

6 基準説明

当年度の目標値（756グラム）を達成した場合をa，京都市循環型社会推進基本計画の基準年度（平成25年度）のごみ量（880グラム）を超えた場合をeとし，b～dは等間隔（約41グラム間隔）で基準を設定。評価基準は，毎年，当年度の目標値により変更される。

7 評価結果

平成29	平成30	令和元
a	b	b

指標名	ごみ焼却量（トン）
-----	-----------

担当課	ごみ減量推進課	連絡先	2 1 3 - 4 9 3 0
-----	---------	-----	-----------------

1 指標の説明

クリーンセンターにおけるごみの焼却量

2 指標の意味

循環型社会の構築に向けた「ごみの発生抑制、再使用（２Ｒ）」と分別・リサイクルの推進状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値	
	平成29年度	平成30年度		数値	根拠
数値	38.6万	38.3万	0.3万トン減	37.4万	令和2年度の数値目標達成のために当年度達成すべき数値

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値		35万トン	令和2年度	90.6%	京都市循環型社会推進基本計画（2015-2020）

5 評価基準

最新値－目標値が、
a：0トン以下
b：0トン超～2.2万トン以下
c：2.2万トン超～4.4万トン以下
d：4.4万トン超～6.6万トン以下
e：6.6万トン超

6 基準説明

当年度の目標値（37.4万トン）を達成した場合をa，京都市循環型社会推進基本計画の基準年度（平成25年度）のごみ焼却量（44万トン）を超えた場合をeとし，b～dは等間隔（約2.2万トン間隔）で基準を設定。評価基準は，毎年，当年度の目標値により変更される。

7 評価結果

平成29	平成30	令和元
a	b	b

施策名	0103	ごみを出さない循環型社会の構築				
指標名	ごみ1トン当たりの発電量(kWh/t)					
担当課	施設管理課		連絡先	2 1 2 - 9 8 2 0		
1 指標の説明						
クリーンセンターにおけるごみ1トン当たりの焼却熱等による発電量						
2 指標の意味						
「適正処理とエネルギー回収の最大化」に向けて、ごみ1トン当たりの発電量を高め、天然資源の消費抑制を図る取組を示す指標						
3 算出方法・出典等						
算出方法：全クリーンセンターにおける発電量÷焼却量 出典：事業担当課調べ						
4 数値						
	前回数値 平成29年度	最新数値 平成30年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	356	369	13(kWh/t) 増	360	今後の焼却等処理量及び処理施設における技術の発展を踏まえ、令和2年度に目指すべき値(450kWh/t)に対する当年度の計画値	102.5%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		450kWh/t	令和2年度	82.0%	京都市循環型社会推進基本計画<2015-2020>で掲げるごみ量等の目標数値から設定	
5 評価基準						
最新数値の目標値に対する達成度が a：90%以上 b：90%未満～80%以上 c：80%未満～70%以上 d：70%未満～60%以上 e：60%未満						
6 基準説明						
全クリーンセンターにおける発電量を焼却量で除した値で評価する。発電量はごみ質により影響を受けるほか、各クリーンセンターの発電効率は均一ではないため、目標の90%以上を達成したときをaとし、以下10%刻みで基準を設定した。						
7 評価結果						
平成29	平成30	令和元				
a	a	a				